

明誠・学芸館 全国へ

高校の部 就実も金賞受賞

倉敷市の市民会館で開かれている第59回全日本吹奏楽コンクール中国大会（中国吹奏楽連盟、朝日新聞社主催）は25日、第2日の演奏があり、高校の部と大学の部に計27団体が出場した。高校は出雲北陵（鳥根）と明誠学院（岡山）、岡山学芸館の3校が、大学は山口大文化会吹奏楽部がそれぞれ全国大会への出場を決めた。全国大会は10月、高校の部が名古屋市中区、大学の部は兵庫県尼崎市で開かれる。第3日は小編成の部と職場・一般の部がある。

川崎医療福祉大は金賞

う。結果を聞き、ホルンを担当する部長の岸本千熙君（3年）は「もう一度演奏

できる機会を与えていただきうれしい。全国に感動の明誠サウンドを届けたいです」と興奮した様子で話した。岡山学芸館は「ワイルド



中国大会

3年連続の全国大会出場を決めた明誠学院は「『幻想交響曲』より第5楽章『サバトの夜の夢』」を演奏。曲の冒頭では丁寧な木管楽器のアンサンブルで神秘的な世界観を見事に表現した。終盤は突き抜けるような金管楽器と2台のバスドラム、ティンパニのパワフルな音色で会場を圧倒した。



全国大会出場を決めた●明誠学院●岡山学芸館



金賞の就実

25日の結果

●は全国大会出場
○は高校の部
◇金賞(就実(岡山)、出雲商(鳥根)、修道(広島)、出雲北陵(鳥根)、広島国際学院(広島)、防府西(山口)、明誠学院(岡山)、岡山学芸館(岡山))

【銀賞】徳山(山口)、米子西(鳥取)、石見智翠館(鳥根)、倉敷(岡山)、おかもやま山陽(岡山)、広島新庄(広島)、米子北(鳥取)、出雲(鳥根)、比治山女子(広島)
【銅賞】神辺旭(広島)、鳥取東(鳥取)、防府商工(山口)、岩国商(山口)

◇大学の部
【金賞】山口大文化会吹奏楽部(山口)、広島大吹奏楽団(広島)、川崎医療福祉大ウィンドオーケストラ(山口)、フルウインズ(岡山)
【銀賞】鳥根大吹奏楽部(鳥根)、広島修道大吹奏楽団(広島)
【銅賞】津山高専(岡山)

・グース」を演奏し、5年連続で全国への切符を手にした。自由曲では終始緊張感のあるサウンドを作り上げた。曲の前半では個々の楽器の音色を生かした緻密なアンサンブルを披露。金管楽器のスピード感ある音色が全体を引き締め、イングリッシュホルンのソロを生かした。後半では複雑なリズムを打楽器がリード。

木管楽器は複雑な連符も流れるように奏でた。トランペットを担当する部長の板野未侑さん(3年)は「今までで一番の演奏ができるように頑張ります」と全国大会への意気込みを語った。朝一番に演奏した就実は「歌劇『トゥーランドット』より」の華麗でスケールの大きな旋律を響か

せ会場を盛り上げた。課題曲ではトランペットを、自由曲ではハーブを担当した白石巨君(2年)の親指と人さし指には血豆ができていた。曲の終盤ではなめらかに音程を変える奏法を披露し、演奏後は「緊張したけど、堂々と思いつきり弾きました」とやりきった表情だった。

小編成から出場部門を変更して2年目で中国大会に出場した倉敷は「復興」を力強く演奏し、銀賞を受けた。ホルンを担当する部長の四通田楓さん(3年)は「中国大会という大舞台で緊張したが、それぞれが『復興』にこめた思いを表現できた」。

おかもやま山陽は「バレエ組曲『エスタンシア』」を演奏し銀賞を受けた。終盤ではたたみかけるような旋律を鮮やかに演奏した。同校で講師をしていたクラリネット奏者、岩尾眞治さんが7月10日に他界。クラリネットを担当する三島らいかさん(3年)は「(岩尾先生が言っていた)吹いていて楽しく、自分がいいなと思う演奏を目指してきま

した」と話した。大学の部では川崎医療福祉大ウィンドオーケストラハートフルウインズは「ワイルド・グース」を演奏し金賞を受けた。イングリッシュホルンのソロを担当した渋谷翔太さん(4年)は「少し悔いが残るが、最後は全力で吹ききった」と笑顔で話した。(榎場勇太)